

2月4日 『きっかけバス47』プロジェクトスタート

『きっかけバス47』は、全国47都道府県から、約2000人の学生たちが東北の被災三県にバスで行くプロジェクト（「助け合いジャパン」が主催）で、3月8日まで合計47台のバスで各地を訪れます。（<http://kikkakebus.tasukeaijapan.jp/>参照）

東日本大震災から丸3年が経とうとするなか、いまだに東北の人たちは「風化」と「風評」に苦しんでいます。その流れをなんとか止めたい。もう一度、日本中に復興の「旋風」を巻き起こしたい。そう考えた学生たち中心の動きです。内容は、震災について現地での実体験と様々な人々を通して学び、課題をとらえ、自分のコトバで家族や友人、大切な人、それぞれの故郷・地域の人たちに伝え続けてゆく。そして、日本中が助けあって東北の復興に関わり、311の教訓を地域の防災に活かす“きっかけ”をつくります。

このプロジェクトの中で、除染情報プラザが訪問先の一つとなっています。施設見学とミニ講演を通じて（1）放射能汚染と放射線の健康影響、除染をはじめとする現状など「今の福島」を正しく理解してもらい、（2）地元に戻ってから学んだことや感じたことを自分の言葉で伝えてもらい、原発事故の風化を防止し、風評払拭に寄与してもらうことを期待しています。初日となった2月4日には、岐阜県からの学生さん34名を除染情報プラザに迎えて、小沢晴司調整官による挨拶、青木仁アドバイザーによるミニ講演と意見交換等を行いました。



小沢調整官による歓迎のスピーチ



講演会での質疑風景



参加学生集合写真